

新庁舎建設特別委員会の概要（第10回）

- 1 日 時 令和2年2月10日（月） 9時00分～10時54分
- 2 場 所 第1議会委員会室
- 3 出 席 全委員
- 4 内 容 1 新庁舎の整備について
2 その他

配布資料

① 新庁舎整備事業 候補地の比較

- 執行部から4つの候補地（①現庁舎周辺、②美濃太田駅周辺、③美濃太田駅北側スーパー周辺、④前平公園周辺）について、それぞれの総工費やメリット、デメリットなどが示され説明を受けた。また、未来のまちづくり委員会からの付帯意見や市長と語る会の意見に対する考え方についても執行部から説明があった。

【委員会で出た主な意見】

- 現庁舎について、例えば周辺の土地を取得すれば、仮庁舎を現在の駐車場のところに建てて、現庁舎を壊すという方法も可能だが、その考えは。
- 現在の駐車場に建てることは、1階を駐車場や商業施設にした場合、今の建物よりも高い建物を建てなければならなくなるため、合理的ではないと考えている。また、今回の試算は、市の所有地の中でどこまでできるのかということ想定したものである。
- 前平について、市有地は約5万平米あると思うが、造成する面積を半分の2万2,000平米にした理由は。
- 造成費用を抑えるため、必要最低限の2万2,000平米の造成ということで想定をしている。
- 前平について、本当に造成費用が15億円もかかるのか。
- 造成費の中で一番高いのは、土砂の搬出である。例えば段差をつけるという方法も考えられるが、様々なパターンがあるため、今回は一番利便性のよい平地にするということで計算をした金額となっている。
- 前平について、前平公園にはサッカー場などもあるが、そちらで新庁舎を整備し、造成する候補地に代替えでサッカー場などを整備する考えは。
- 前平公園の野球場、サッカー場、広場は全て都市公園として指定がされており、

- その都市公園を触って土地造成をするということは、基本的には考えていない。
- 美濃太田駅周辺について、商業ビルの解体費が約2億9,000万円となっているが、この中にシティホテルに対しての補償費は含まれているか。
 - この金額の中には、補償費は含まれていない。なお、現在、他の市街地再開発事業に伴う公的補償の研究を始めている。
 - 市とシティホテルの契約期間は残っているというお話を伺った中で、市の都合があるときはそれを解除できるという項目もあったが。
 - シティホテルを解体・再整備させていただきたいということは、今までの一般質問でもお話ししてきた。その想定の中での話であるため、具体的な協議、交渉は公式な場として持ったことはない。ホテルの課題に対しての意見交換や将来市としてコンベンション機能は残したい旨のお話はさせていただいている。
 - 前平について、雨水管工事はこういったものが含まれているのか。また、調整池の工事は、外構工事に入るか。
 - 基本的には下流の排水の改修工事である。また調整池は、外構工事の中に含まれている。
 - 前平について、山を削るため、かなりの土が搬出をされるという想定だが、どれくらいを見込んでいるのか。
 - おおむね18万3,000立方メートルというふうに考えており、相当な費用になる。
 - 駅周辺のメリットについて、「JR、長良川鉄道、あい愛バスの結節点であり、多様な交通の要所である」となっているが、リニア新幹線が中津川市に通ることに関連して、JRの太多線の動きは。
 - リニア新幹線の開通に合わせた中央線との連絡の中で、JRの美濃太田駅の活用についても意見交換を始めている。
 - 結節点という観点からも、あい愛バスのスピードアップをお願いしたい。
 - ペDESTリアンデッキについて、にぎわいのあるまちづくりや浸水時の駅北への避難という点で有効であると思うが、平米の単価はどれくらいか。
 - ペDESTリアンデッキは、新庁舎とつなぐ部分と、建物の中に付随する軒下の部分と合わせて全体的な整備をしたいと考えている。概算ではあるが、建物の敷地内の部分で約500平米、平米単価は約33万円で計算している。駅のほうへつながっていく通路部分については、約220平米で、平米単価は約110万円で計算している。
 - ペDESTリアンデッキの完成のイメージは。
 - 基本的にペDESTリアンデッキを今の駅の最上部、エスカレーターを上がりきったところにつなげたいと考えている。JRとの協議を始めているが、十分な協議が必要であると考えている。
 - ペDESTリアンデッキは、駅から直接的に庁舎に行くためだけでなく、反対側の駅南側の再開発が進もうとしているところと結ぶことは考えているか。
 - 具体的な協議に入りたいと考えている。駅南地区街づくり協議会で、将来の西側の市街地再開発事業について勉強会を始められている。その中で、ペDEST

リアンデッキを駅や東側の公共施設をつなぎたいという要望があり、これは市街地再開発事業の区域内の一体化の事業とすれば、立地適正化計画区域内の事業ということで国庫補助対象にもなり得るとも聞いている。民間の協議会と相談をしながら、より快適なペDESTリアンデッキとなればよいと考えている。なお、当然それにかかる費用は、民間の部分については民間で負担していただく。将来的に管理は市になるため、つくっていただいて寄附を受ける形になるのではないかと考えている。

- 美濃太田駅周辺について、メリットの「社会資本整備総合交付金の活用が可能になる」とあるが、交付金の活用が可能ならば、どのくらいの金額か。
 - 今、試算額でお示しをしているのは、交付金が入っていない額になる。具体的にどういった事業でどういった交付金を受けられるのかというのは、今後研究が必要である。
- 仮に商業ビルを解体した場合は、交付金の対象となるのか。
 - シティホテルとしっかり相談をしてからの話になるが、解体・再整備についても市街地再開発事業区域内に入れば補助対象の可能性はある。
- 美濃太田駅周辺について、1階が浸かるという水の高さは何メートルになるか。
 - おおむね1階が浸かるというのは、約3.5メートルであると考えている。構造上の問題で、例えば現庁舎あるいは駅周辺に整備した場合も1階部分を駐車場にするというような想定をしているため、その想定をどこまでするのかということによっても変わってくる。
- 現庁舎周辺の場合は、新しい建物を4階にするという計画が出ており、駅前には6階建てにするという計画が出ているが、その違いは。
 - それぞれの場所の敷地の問題もあり、1階の建築面積がどれだけ確保できるのかによって変わってくる。1階の建築面積が小さくなればなるほど上へ積んでいく考え方になるため、それぞれの高さが4階であったり6階であったりする。また、駅前の場合は、コンベンション機能の面積はしっかり取りたいということから、ほかの地区よりも1階分の面積は多く必要であろうと考えている。
- ペDESTリアンデッキを使えば、例えば今の市有地である分散した駐車場、特にシティホテルの駅南側にある駐車場を2階や3階にできるものなのか。そうすれば、そこからペDESTリアンデッキへの移動もできるが、そういう考え方はあるのか。
 - これは面積をフル活用した場合を想定している。効率的に活用できる民地に立体駐車場ができれば、にぎわいのための駐車場として現在100台を想定しているが、さらに面積を増やしてなるべく利便性のよいものにしたいと考えている。民間との連携も前向きに考えていく。
- 職員駐車場について、現在借りているところはそのまま使用するのか。
 - 駅周辺の場合は職員駐車場をそのまま使いたいというお話はしてきたが、現在職員駐車場は全て借りているため、あまりにも新庁舎から距離があるような駐車場については、駅周辺に借り換えることも可能と考えている。

- 商業ビル維持管理費について、30年で約30億円となっているが、この金額は賃料を差し引きした30億円なのか、それとも単純に支出する経費の30億円なのか。
- 市商業ビル自体を運営していく運営経費は一切含まれていないため、施設を維持管理していくための経費が約30億円かかるということである。シティホテルに委託費を出して家賃をいただいて、その差し引きがあるが、その差し引きした分の経費というのはここには含まれていない。なお、市からシティホテルへの委託料とシティホテルから市への使用料などをプラスマイナスすると、実際は市の持ち出し分の方が多い。
- 駅前について、「にぎわいの創出」という言葉で表現されているが、多額の税金を投入するので、投資の効果を明確にした方がよい。シティホテルについては、株主の皆さんのご協力に対して感謝をするとともに、今後の税金の使い方について明確に提示できるとよい。駐車場に関しては、民間との連携を深めていただきたい。コンベンション機能については、ホテルの誘致が一番合理的であると考えます。
- 民間と連携をし、投資をすることで新たな美濃加茂市の魅力を発信できる場所を目指したい。駐車場に関しては、ペDESTリアンデッキを通じて西側にもし立体駐車場が活用できて、市の効率的な活用につながる金額であれば、面積や台数を増やして考えていきたい。コンベンション機能については、ぜひ確保させていただきたい。民間の方との意見交換を進めながら、まちづくりとして非常に有効であるということをしかりPRをしていきたい。
- 街づくり協議会が立ち上がった現実、この方々と一緒になって開発をしない限り、魅力あるまちづくりは難しいように思う。
- 過去に駅前再開発を行ったにもかかわらず、現在もにぎわいが無いように思う。今度は市役所を駅前に建てて、にぎわいを創出するということであるが、なぜ20年前の駅前再開発でにぎわいが創出できなかったのか検証しているのか。
- 貴重な税金を投入させていただいた駅前再開発事業は、十分な価値があったと考えている。当時想定しなかった経済や人の流れが読み切れなかった点は、反省しないとイケない。現在、国交省が立地適正化計画を進めており、補助金をいただきながら、さらにもう一度駅前の活性化に努力してまいりたい。
- 駅前に市役所ができることで、本当ににぎわいの創出につながるのか。
- 新しい時代に沿ったまちづくりの拠点となるのが駅周辺であると考えている。
- 若者に夢を与えるようなまちづくりをお願いしたい。今までの経過を見ると駅前ありきでどんどん進んでおり、慎重に進めていただきたい。
- 若者と意見交換をさせていただいた中で、美濃加茂市に若者が行きたい場所がほしいといった意見もあった。将来の20年、30年先に美濃加茂の魅力をつくるという点でも若い方が集まれる、そういった駅周辺の拠点を整備していきたい。50億円というお金を投資する以上、将来のまちづくりにとって有利な補助金も活用しながら、効率的な財政の運営をさせていただいた上で、将来の美濃加茂

にとって必要なまちづくりを進めたいと考えている。

- 前平の土地の造成について、土を持ち出さずに平地にした場合、海拔はどのくらいの高さになるのか。
- 前平の5万平米ある土地は、かまぼこ型であり、南側に大きな擁壁を造っても限界があり、基本的には山を切って土を持ち出す以外、平地を整備することは難しいと思う。
- 前平公園周辺について、造成費が15億7,700万円になっているが、見積もりを取っていただきたい。また、3.5メートルで1階が浸水するであろうというお話であるが、もう少し具体的に説明願いたい。
- 造成については、詳細な経費、積算業務を予算化させていただきたい。その中で2つ以上の比較ができるようにしていく。また、浸水に関しては、自家発電機などは3階以上のところに設置をして、2階まで水がついても12時間の浸水時間を考えた上で、必ず復旧できるような耐水構造を持った構造にするなど検討している。今回、防災庁舎を別で整備することにより、対策本部としての機能はしっかり持つということも考えていきたい。さらに、市民の方には命を守るためには自ら逃げるということもしっかり伝えていきたいと考えている。
- 新庁舎の整備、駅前の再開発、シティホテルの存続、自然災害への対応など様々な問題があって複雑な状況であるため、それぞれ分けて考えてもらいたい。
- それぞれの問題が複雑に関連しているため、切り離して考えられない。議論をしながら、1つずつ整理をして結論を出していきたい。

【まとめ】

- 次回も執行部から資料を提示してもらい議論していくことを確認し、委員会を閉会した。